

千葉県社保協通信

2020年度 — No.9 2020年 10月 28日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

県憲法共同センター・消費税廃止県連絡会・県社保協

9条改憲NO！ — 千葉駅頭共同宣伝— いのち暮らしを守る政治実現を！！

10月27日（火）昼JR千葉駅前にて、3団体共同で宣伝しました。参加者が次々とマイクを握り、「自助、共助、公助を強調し、国の出番は最後の最後だとする菅首相ではコロナ危機で苦しむ国民の命と暮らしを守る政治はすすめられません」「市民と野党の共闘をさらにすすめ、私たちの願いが届く野党連合政権を実現させましょう」などと訴えました。

「菅首相の発言はとんでもない。あれでは政治はよく



千葉土建、千葉労連、千商連、自治労連、私教連、自由法曹団、共産党など8団体18人が参加。



ならない」と3つの署名にサインした男性は「頑張ってるよ」と。「消費税は社会保障のためだからね」と言いながらも「改憲NO」と「いのち署名」には応じる女性も。年配の女性は「この前署名させてもらいました。今日はカンパを」と2千円。また「共産党なのか?」と問う男性に「共産党も一緒にやっています」と応えると「共産党は必要だ」と改憲ノー署名に応じました。1時間で「改憲発議に反対する全国緊急署名」「医療・介護の実現・いのちと健康を守るための署名」「消費税5%への引き下げを求める署名」合わせて30筆が寄せられました。

— 10.22 いのちまもる総行動 — 国は医療・介護・福祉に財政支援を！

東京・日比谷野音会場への参加は329名、全国500カ所以上で、Web視聴され、全国がひとつにつながり「いのちまもれ」と訴えました。

日本医労連の森田しのぶ委員長があいさつし、「コロナ禍で医療・介護・福祉・公衆衛生の脆弱性が明らかになりました。いのちを最優先しない政策からの転換を求めましょう。一人ひとりが尊重され、生きられる社会の実現のために、いのちと人権が守れる医療・社会保障と、医療・介護提供体制確保のための大幅増員・処遇改善の声と共同を大きく広げ、国に求めていきましょう」とよびかけました。

国会議員も応援にかけつけ、リレートークでは、看護現場、医師、地域医療、介護、保育、それぞれの現場の実態をリレー形式でつなぎ、集会最後は、「いのちまもれ」「看護師・介護職員ふやせ～」などとコールしました。



県内では、県保険医協会の医師ら5人が日比谷集会に参加したのをはじめ、民医連の各院所で職員と友の会会員あわせて78人、流山社保協は東葛病院で7人、自治体福祉センターでは4人（労連・自治労連・医労連・県社保協）、千葉土建3人、保険医協会2人がWeb視聴。合計99人が総行動に参加しました。